不審メールの見分け方とその対策

1 見分け方

本来は送信者のアカウントとメールアドレスは一致していますが、なりすましが起きていると、例えば横浜太郎: 〇〇@yokohama-cu. ac. jp が本来正しい送信者の場合に、〇〇@yokohama-cu. ac. jp でないアドレスが表示されています。

	□ う び ↑ ↓ ・ RE: メール件名 - メッセージ (テキスト形式) 囨 – □ ファイル メッセージ ♀ 実行したい作業を入力してください	×
	201 なりすまされている人 201 なりすまされている人 のアカウント名 RE: 実際に送受信したメール件名 郊先 メール受信者名	^
開いて	本件ついては今回触れておりませんが Cはいけない添付ファイル	
	感染したメールアドレス なりすましが起こっているメール	
	よ実際に受信したメール本文 お疲れ様です。	
	実際に受信したメール本文	
	Imailto: メールアドレス From: メールアカウント名 Sent: Monday, June 03, 2019 7:45 PM To: メール受信者名 Subject: 実際に送受信したメール件名	•

2 対 策

 (1) Microsoft Wordを立ち上げ、「ファイル」→「オプション」→(Wordのオプション 画面)「セキュリティセンター」→「セキュリティセンターの設定」の順に クリックすると以下の「マクロの設定」画面になります。

セキュリティ センター		?	\times
信頼できる発行元	マクロの設定		
信頼できる場所	警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(<u>L</u>)		
信頼済みドキュメント	● 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(型)		
信頼できるアドイン カタログ	○ デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする、シリ		
アドイン	○ すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E) 非推奨		
ActiveX の設定	開発者向けのマクロ設定		
マクロの設定	□ VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(⊻)		
保護ビュー			
メッセージ バー			
ファイル制限機能の設定			
プライバシー オプション			
	[Microsoft Office 2016 のセキュリティセンターのマクロの設定の画面	ī]	
	ОК	++>	セル

※macOSの場合



(2) マクロの設定画面で

二つ目 「警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)」を選択します。 最後に、右下のOKをクリックします。